

きずな 2019



上川管内公立小中学校事務職員協議会
発行者 広報担当 島尻 日露野(鷹栖小)
第5号 2020.2.3

令和元年も終わり、2020年オリンピックイヤーを迎えました。年度末の忙しい時期を控えておりますので、体調を崩さぬよう、十分お気をつけください。

さて、今回の「きずな」は、12月27日に行われた上事協の冬季研修会と、1月10日に行われた全道協議会の冬季セミナーに参加された方からご感想をいただきましたので、ご覧ください。

上事協冬季研修講座参加者報告



美瑛町立美瑛中 竹森 友哉

講座は、経験年数の少ない事務職員同士のグループワークによる実務研修と事前に受け付けていた質問に対して回答していただく事例交流の2部構成で進められました。

実務研修では、テーマの「学校事務職員にこれから求められること」について、小柱に沿って話し合いました。特に話題になっていたのは、「仕事のAI化が進む中で求められることは何か」ということで、「人との関わりを大切にすること」「管理するためにも今までの仕事をしっかり理解する必要があること」などが挙げられました。また、他の事務職員の方から、実際に子ども達のために、試行錯誤して遊び

道具や遊び場所をつくったり、図書室の利用を促すような企画を考えたりと、具体的な取り組みを聞き、自分にはそのように子ども達のことを考えることはできているか、4月からの仕事を振り返ることができました。

今後は、今回の研修を踏まえ、改めて自分の仕事の取り組み方や学校での役割を考え、子ども達や学校のために働ける事務職員を目指し努めていきたいです。



中川町立中央小 田澤 湖都

はじめに「学校事務職員にこれから求められることは」というテーマに沿って、グループ交流を行いました。

グループ交流では、事前に挙げられた柱をもとに話し合いを進めました。Society5.0社会の中で、私たち学校事務職員ができる仕事がどれほど残るか、「創造性・マネジメント・ホスピタリティ」という観点から、やはり人間にしかできない仕事がある等の意見が出ました。2つ目の柱でもある「ウェルビーイングな学校づくり」を行うことができるという点でも、事務職員が必要であることが分かりました。ウェルビーイング(=幸福)な学校であることには、教職員・児童・人間関係・生活環境…様々なことが関係していることが分かりました。

そして、事前に集約された質問を共有する場面では、研修部の方からの資料を見ながら進んでいきました。備品の管理方法といった、多くの有益な情報は、自校でも是非取り入れたいとくみりがたくさんありました。なにより、皆さんの仕事への思いの強さを感じ、私はまだまだ頑張れると再認識できました。とても実りのある研修に参加できました。ありがとうございました。



経験年数の少ない事務職員のための冬季セミナー参加者報告

南富良野町立南富良野中 坂本 大和

1月10日(金)に「経験年数の少ない事務職員のための冬季セミナー」を受講してきました。午前中は講座で午後はグループ討議の日程でした。

午前中1人目、名達さんの講座では最初に「私が考える学校事務の姿」と「私が考える学校事務職員の姿」を受講者に考えてもらい答えるところから始まりました。受講者からは職務を適正に処理するのが学校事務で職員・生徒と共に支え合って仕事をするのが学校事務職員の姿などが挙がり。その回答を踏まえたうえで、学校事務の歴史をかみ砕いてわかりやすく説明していただきました。

午前中2人目、本別中央小学校の平田さんの講座では異動による2校目シンドロームをこれから初めての異動を経験する我々に教えていただきました。異動すると経験者として扱われるようになったり、学校規模の違いで子どもアンケートや職員向けの文書が出しにくくなるなど、実体験を交えつつ話していただいて、異動への不安など悩みが解消されました。

午後はグループ討議が行われ、経験年数が少ない全道各地の事務職員の方々と交流テーマを柱にして、各学校の取組を交流しました。私は複数配置グループで様々な学校規模の複数配置ならではの議論が活発に行われました。最後に、始まりから終わりまで内容が詰まったセミナーで、全道の採用年数が近い事務職員と交流できる貴重な機会でもありました。改めて横のつながりの重要性を感じるセミナーにもなりました。



名寄市立名寄南小 匂坂 文香

今回のセミナーには約40名が参加し、他管の方々とも交流することができ、とても充実したセミナーになりました。

午前中に行った本別中央小学校の平田さんの講座では、横のつながり(コミュニケーション)を大切にすることや、子どものため・学校のために「もっとよくできないだろうか」と考え、課題を職員と共有することにより子ども達が活動しやすい環境を作ることにつながるということなどたくさん学ぶことができました。まだまだ慣れない日常の業務をこなしているという忘れがちになってしまいますが、子どもとの時間を大切に、事務として・加配として学校のためにできることを探していきたいと思いました。

午後に行ったグループ討議では、加配のグループとして、各校での仕事の中身について・日常で困っていること不安なことについて話しをしました。他校の仕事内容や実践など、疑問に思っていたことを聞くことができ、今後の仕事に活かしたいと感じることがたくさんありました。また、全体交流では、学校だより・子どもアンケート・予算要望について交流することができ、異動で一人になった際には参考にさせていただきたいことがたくさんありました。



子どもたちのため、学校のためによりよい学校づくりができるように、今回のセミナーを活かしていきたいです。そして自信をもって事務の仕事をするために、これからも自己研鑽を重ねていきたいと思ひます。

管内研のお知らせ

2月27~28日に第132回管内研が開催されます。

今年度のまとめと次年度に向けた研究大会となりますので、多くのみなさんの参加をお願いします。

5日(水)が各市町村の締め切りとなっています。まだ申込みをされていない方は、連絡員の方へお申し込みください。大会終了後には総会も開催されますので、合わせてのご出席をお願いします。

今後の予定

- 2月5日(水) 管内研参加集約締切
研究集録原稿締切(小林理事)
- 10日(月) 第8回理事研修会・研修部会
- 13日(木) 役員選挙立候補締切
- 27日(木)~28日(金)
第132回管内研(上川教育研修センター)